



# いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

2530

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：八幡 恭朗 幹事：志賀 康朗 発行：会報・広報委員会

第 3211 例会 (16号) 2020 年 10 月 29 日 (木) 晴

## 会員卓話 SPEECH

### 銀行員生活を振り返って



(株)東邦銀行  
常務執行役員いわき営業部長

小野 佐重喜 会員

今般の卓話でなにをお話ししようかと思ったときに、残り少なくなった銀行員生活の総括をするのにちょうどよいと思い、振り返りをさせていただくこととしました。新入会員でもあり、私をわかっていたか良い機会であるとも思っております。

銀行員という職業はまず人とお会いするのが仕事です。巡り合った人たち、お客様、上司、部下たち、あとは読書にいかにもいろいろなことを教えていただいたか改めて気づいた次第です。それらの巡り合いはビジネスとはある面かけ離れたところで、人生の彩りを与えてくれたと言えます。

入行 1984 年 昭和 59 年で 36 年間銀行員を続けます。改めて見てみたら、13 部店で働きました。約 10 年間の単身生活でした。

入行は日立支店、当時は期日指定定期預金が年利 5.75%。1 億円の預金で年間の生活費が賄える時代でした。日立製作所がまだ元気だった時代で、御三家と言われていた日立化成が身売りし、日立電線も日立金属に吸収されるような末路を想像できない時代でした。結婚をした思い出の地でもあります。

この地でジャズの洗礼を受けました。「SOMETHING」という小さなジャズ喫茶でひたすらジャズを聴く日が続きました。マスターは本にも造詣があり、休日には店で 2 人だけでジャズを聴きながら読書をするといった日もありました。好みも似ていて、サリンジャーの「ライ麦畑でつかまえて」のおもしろさに笑いあったのを思い出します。閑話休題 デイミアン・チャゼルは映画「ラ・ラ・ランド」で一躍有名になった映画監督です。デビュー作日本名「セッション」も面白い映画で、両作ともジャズをテーマにしており、ジャズへの深い愛が感じられます。

この「セッション」の主人公の部屋に有名なジャズド

ラマー・バディリッチーの言ったこんなポスターが貼られていました。「無能な奴はロックをやれ!」。マスターは 60 歳を機にあっさりと店を閉め、数千万円でレコードを売り払い 1 年間の旅に出ました。もともと旅慣れた男でしたが、バックパッカーとなり南米のいわば危険地帯を歩き、現地の生活者や文化といった生の姿を流麗な文章でメール送信してきました。時にその文章は、IME が入っていない現地のパソコンから送信されるため読むのに苦労しました。今もたまに読み返すと、色あせない旅の様子が伝わってきます。このマスターも鬼籍に入ってから 10 年。亡くなったときはちょうど水戸支店在籍で、葬儀をさせるために呼ばれたと思っています。

平成 5 年から 10 年までは原町の支店に在籍。5 年は長い在籍ですが理由があります。銀行は時に反社会的勢力(反社)と対峙しなくてはならない時があります。暴対法が強化され、反社も行動が制限されるようになりましたが当時は今ほどではありませんでした。きっかけは住宅の競売事案です。当人は縫製会社の社長をしており、一時羽振りが良く個人的に金融業をしており、回収が焦げ付き、やがては経営会社も業況が悪化していきました。住宅ローンがあり、延滞がかさんだため、規定に則り競売を申し立てることになりました。競売に対抗する手段として、地元の暴力団、右翼、チンピラを動員させ競売取り下げを迫りました。融資のキャップとして、毅然とした態度で臨み、頑として要求に屈しなかったことから、社長は九州の大物を「叔父」と称して呼び寄せたのです。厳しい言いがかりが続きましたが、銀行が無理と見るや、さすが目の付け所が違いました。羽振りが良かったことから 2 区画の土地を購入していました。その土地の一部に、実体のない無線会社の名義を発見。瑕疵物件を売りつけたとして、不動産会社を恐喝し買い戻させたのです。戻された資金で延滞を解消させ、残り数百万円は取られてしまいました。結局その後、競売され持ち家を処分されてしまいました。反社は事前に訪問日・時間を通報してくるから、店内は緊張する日々が続きましたが、かえって一体感が強まり、組織力が向上しました。

こうした状況の中、父を癌で亡くし、週末にはいわきに看病のため戻っていたこともあり、精神的にもきつい時代であったと思います。

平成 22 年から 2 年 7 ヶ月は水戸支店に在籍。震災の



2020~2021年度  
国際ロータリーのテーマ

「ロータリーは機会の扉を開く」

Rotary Opens Opportunities

# 「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

時であり、思い出に残る地です。食料が手に入りにくい状況が続きましたが、お客様からの炊き出しをいただき温情に触れた貴重な体験を得ました。当行はテレビ会議を通じて窮状を訴える営業店への支援を実施。当時の交通事情の中、10時間をかけ本店から食料物資を運んでくれました。面白いエピソードがあります。震災を遡り、赴任直後のこと。金庫ダイヤルを変更する規定があり、金庫会社が当方の希望する番号に変更しました。大扉の金庫ダイヤル、非常口となるマンホールが対象です。翌日、副支店長が妙にそわそわしています。金庫ダイヤル表を金庫に格納したとの発言。重機による金庫破壊を準備しましたが、奇跡的にマンホールが開いたのです。営業時間通りの開店ができなかったら、私はこの場にはいません。数多くの方々との出会い、それと奇跡によって銀行員を続けてこれました。出会いに感謝しています。

## 司会：志賀康朗幹事

〔点鐘・ロータリーソング（奉仕の理想）・四つのテスト（森雄治会員）〕

森雄治会員



### ★ 誕生祝



稲葉 廣直さん  
(10月29日)



阿部 弘行さん  
(10月30日)

ハッピーバースデーソング斉唱

## ◆会長挨拶ならびに報告



10月24日は世界ポリオデーでした。今年はアフリカ地域から野生型のポリオが根絶されたことがWHOによって認定され、残すところ、アフガニスタンとパキスタンの2国になったということが報道されました。ロータリークラブはポリオ根絶を先頭に立って推し進めてきました。1979年にはフィリピンの600万人の子どもたちに投与するワクチンの購入・輸送がロータリークラブによっておこなわれています。1985年には史上初かつ最大規模の民間による国際的な公共保健イニシアチブ（戦略・計画）である「ポリオプラス」が国際ロータリーによってはじめられています。このような長い歴史のあるポリオ根絶の運動をさらに進めるために、そして、ロータリーの公共イメージ向上のために世界ポリオデーを盛り上げていかなければならないと思います。

## ◆幹事報告

○いわき平東RCから11月プログラム予定表が届きました。



## ◆委員会報告・会員報告

### ◆出席委員会（軽部良一委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メークアップ数
10月29日	51名	27名	—

### ◆ロータリー財団委員会（阿部弘行委員長）

八幡恭朗さん、越智正典さん、小野佐重喜さん、関口武司さん、阿部弘行さん。以上5件

### ◆米山記念奨学会委員会（鈴木弘康副委員長）

八幡恭朗さん、越智正典さん、小野佐重喜さん、関口武司さん、阿部弘行さん、鈴木弘康さん、大久保健蔵さん。以上7件

## ◆スマイルボックス委員会（渡邊有委員）

- ♥八幡恭朗さん（小野さん卓話よろしくお願ひします）
  - ♥志賀康朗さん（小野さん卓話よろしくお願ひします）
  - ♥稲葉廣直さん（誕生祝ありがとうございます。小野さん卓話よろしくお願ひします）
  - ♥阿部弘行さん（明日で60才還暦です。ビックリです）
  - ♥有賀行秀さん（早退します）
  - ♥鞍田炎さん（小野会員の卓話を楽しみにしています。ご苦労様です。ただ途中退席させていただきます。最後まで聞けず申し訳ありません）
  - ♥小野寺順正さん（小野さん卓話楽しみにしています。よろしくお願ひします）
  - ♥佐々木貢一さん（小野佐重喜さん卓話よろしくお願ひします）
  - ♥伊藤盛敏さん（小野さん卓話ご苦労様です）
  - ♥中村将之さん（小野さん卓話宜しくお願ひします）
  - ♥飯野光世さん（小野会員卓話よろしくお願ひします）
  - ♥大久保健蔵さん（小野さん卓話よろしくお願ひします）
- 以上12件

★本日の例会案内 11月5日（木）12：30～  
ロータリー財団委員会担当卓話  
ロータリー財団委員長 阿部弘行会員  
お食事メニュー＝カツカレー

★次回の例会案内 11月12日（木）12：30～  
第3回クラブ協議会  
お食事メニュー＝天重